

労働 安全衛生

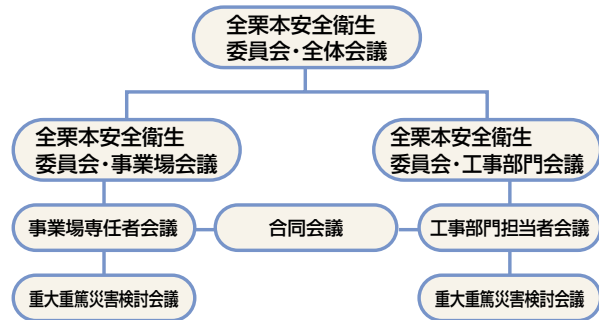
「災害ゼロ」と「疾病ゼロ」をめざして

安全作業の基本は「みんなの協力と努力の積み重ね」だと考え、管理監督者・作業員・安全担当者がそれぞれの立場で、安全対策に積極的に参画しています。

安全衛生を推進するしくみ

当社の安全衛生活動は、「安全衛生管理規定」によって定められた「全栗本安全衛生委員会」を中心に行っています。委員会では製造業である「事業場」と、建設業である「工事部門」のそれぞれできめ細かい活動を進めています。

◆安全衛生活動の組織図



これまでの取り組みと実績

1998年12月、埼玉工場で労働安全衛生マネジメントシステムであるBS8800の認証を日本で初めて取得しました。また1999年までの5年間、特に災害件数の多い、はさまれ、まきこまれ、転落、墜落の頭文字をとった「はまてつ撲滅運動」を展開してきました。その結果、災害総件数は当初の年間60件台から30件台に大幅に減少しました。さらに1年間の安全衛生に関する社内データなどを「安全衛生白書」として毎年発行しています。

これからの取り組み

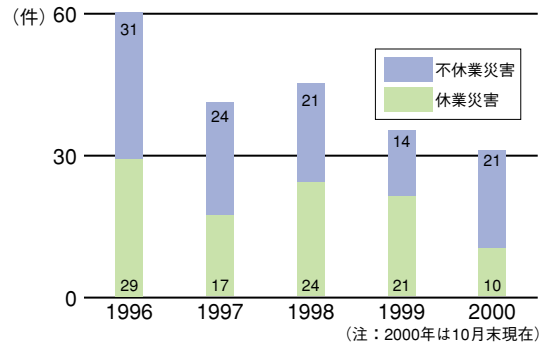
2000年は、全栗本安全衛生統一スローガンである「予知する危険 取り込む健康 未来に手渡す 快適職場」

◆RBS(ラプス)運動推進のための垂れ幕

「全てを基本に戻ってゼロ災ヨシ!!
R(戻ろう)B(基本に)S(安全衛生)
(ラプス)運動」



◆労働災害発生件数



を基本理念に、「人」の尊重を重視した安全衛生活動を充実させていきます。

さらに今後3年間をかけて、これまでの取り組みを発展させた「戻ろう 基本に 安全衛生」RBS(ラプス)運動を展開していきます。ここでは基本にかえって、不安全設備・不安全作業の摘出とその対策による災害未然予防の活動と、類似災害・在来型災害の撲滅という再発防止対策の徹底に取り組んでいきます。具体的な取り組みとして以下の活動が計画されています。

- ①管理監督者への安全衛生教育の全社展開を教育センターと協同で進める。
- ②ワーキンググループを中心に工場・工事現場の安全衛生パトロールを強化する。
- ③工場別の具体的な安全衛生教育資料を作成していく。
- ④労働安全衛生マネジメントシステム構築に向けた各工場・各部門の自主的取り組みを支援する。